

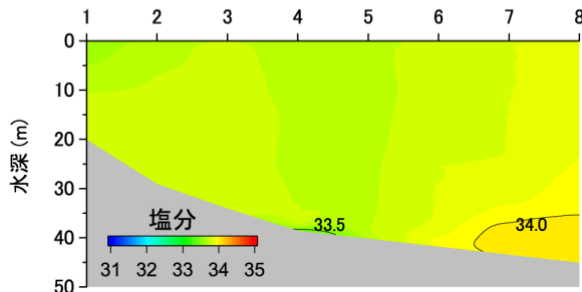
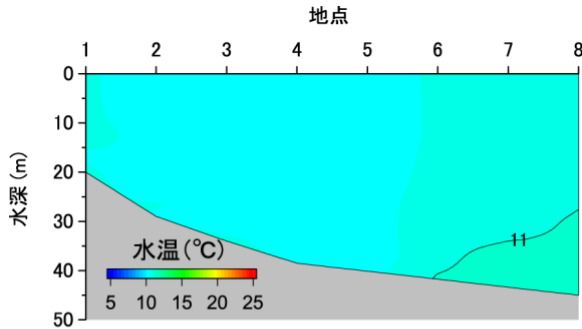
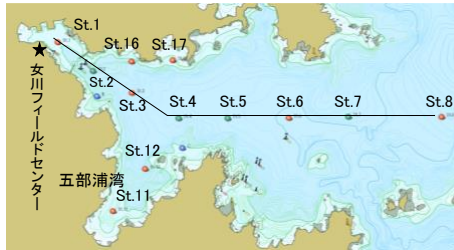
女川湾定期観測情報（1月）

発行：東北大学マリナインス復興支援室

女川湾の海況（2020年1月20日）

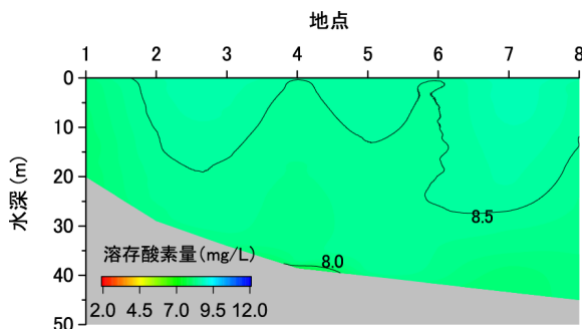
① 水温・塩分

水温は 10.2 ~ 11.3℃ の範囲にあり、過去5年間と比較して平均で 0.7℃ 高かった。塩分は 33.3~34.0 の範囲にあった。水温はほぼ一様だが、湾口部の底層でやや高い値を示した。塩分は湾奥部表層で低く、湾口部底層ではやや高い値を示した。



② 溶存酸素

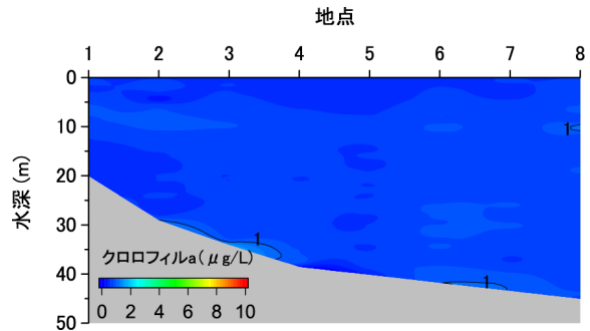
7.5~8.8 mg/L (83.6~97.8%) の範囲にあった。底層でやや低くなる傾向にあった。



※水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/L 以上

③ クロロフィル a

0~1.6 μg/L の範囲にあった。湾内全体ではほぼ一様に低い値を示した。



※クロロフィル量（μg/L）の目安

1以下	少ない
1~3	普通
3~5	多い
5~10	かなり多い
10以上	非常に多い(赤潮状態)

広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター
ホームページより

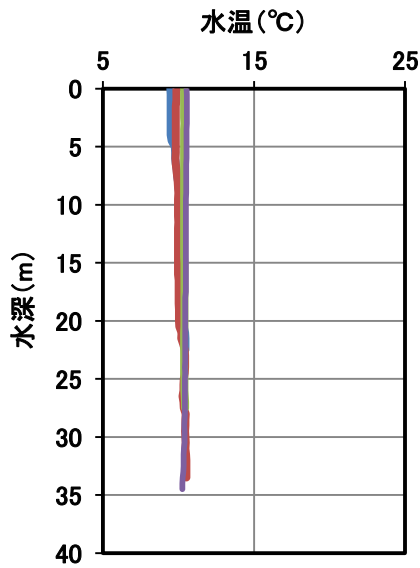
④ 定点の水温、塩分、溶存酸素等の数値データ

地点	深度 [m]	水温 [°C]	塩分	溶存酸素量 [mg/L]	クロロフィルa [μg/L]
1	5	10.6	33.7	8.2	0.7
	15	10.6	33.8	8.1	0.5
3	5	10.5	33.8	8.6	0.7
	15	10.4	33.8	8.5	0.7
	25	10.4	33.8	8.5	0.6
5	5	10.3	33.7	8.6	0.5
	15	10.3	33.7	8.5	0.6
	25	10.3	33.7	8.5	0.6

養殖場の水質環境 (2020年1月20日)

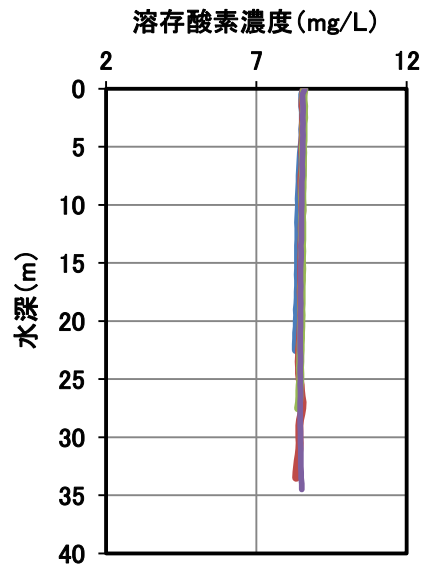
①水温

9.5~10.5℃の範囲にあった。いずれの地点でも鉛直的にほぼ変化はなかった。



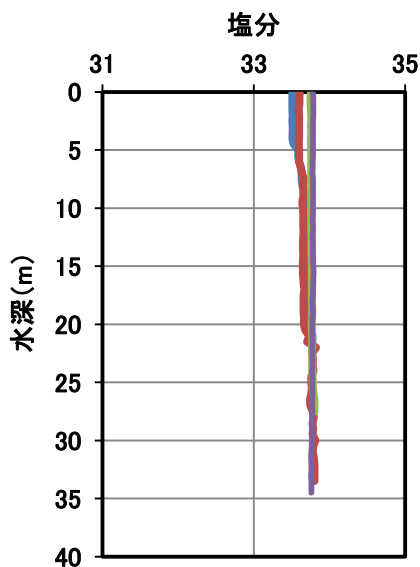
③溶存酸素

8.3~8.6 mg/Lの範囲にあった。いずれの地点でも鉛直的にほぼ変化はなかった。



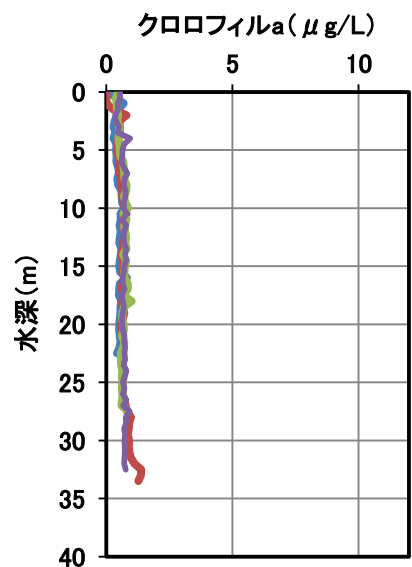
②塩分

33.5~33.8の範囲にあった。いずれの地点でも鉛直的にほぼ変化はなかったが、五部浦湾では表層でやや低くなる傾向にあった。



④クロロフィルa

0~1.4 μg/Lの範囲にあった。いずれの地点でも表層で低く、底層でわずかに高くなる傾向にあった。



本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室
E-mail: agr-marin@grp.tohoku.ac.jp
までお問い合わせください。